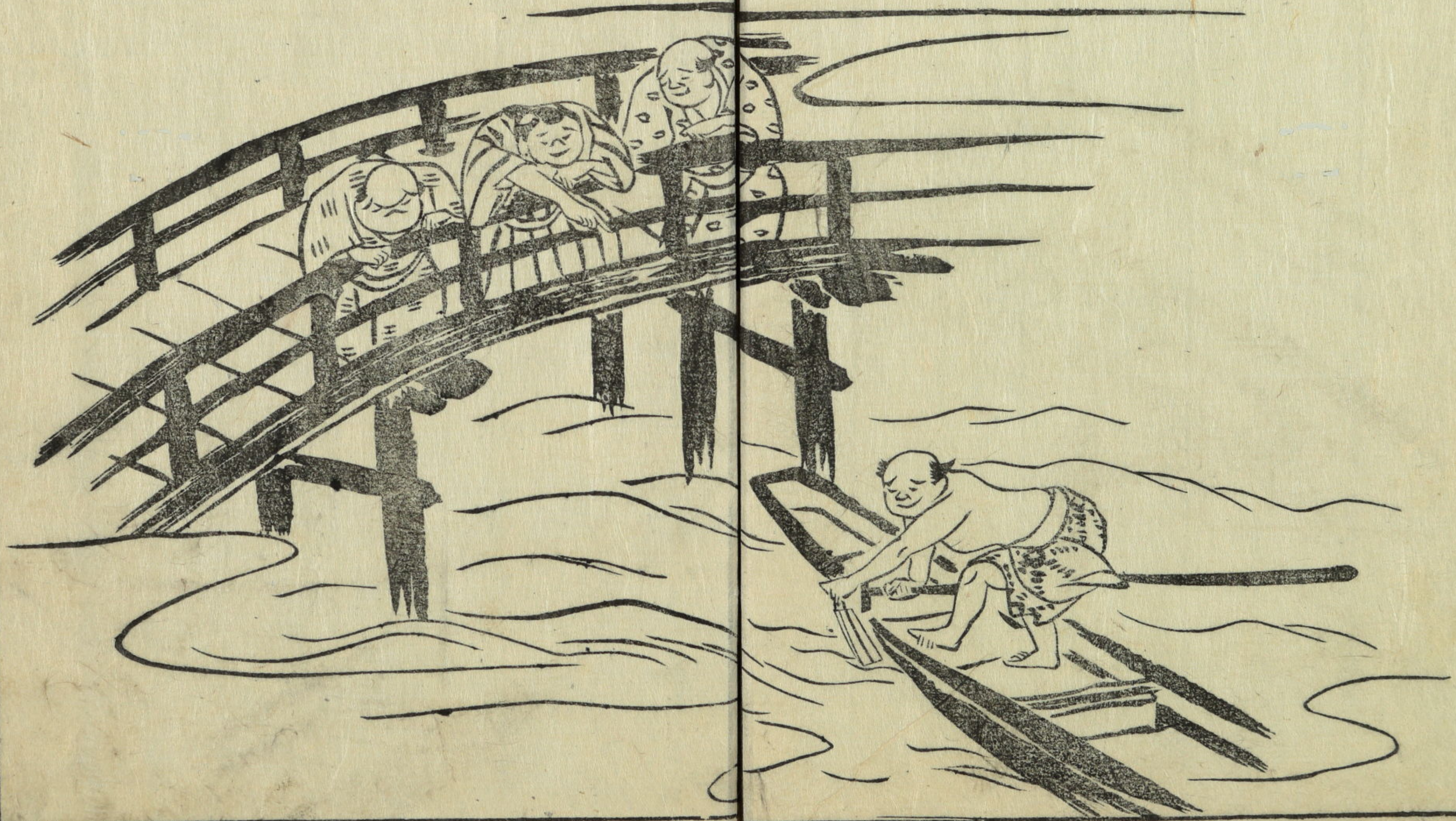


足くりれの清正なるんぞ身ふ入りりよのまじし
キヨマサ
ミヤコ 此月移日 我朝の氷室ありと折鶴をサテく
ヒメ 久しかりそのまじらんといふも折鶴をもちり
ミヤコ ちよもあつてあつて

笑し枝

橋の上銭敷りかり持ふはつめをさなり
おや〜川くをまり〜銭南堂と室と川と入
カ かけあり足踏をよ舟取がひろい上へく持て持
ミヤコ たり

ライ〜 ぞ扇のおれがのやほとふ庄〜
下され〜之の舟取まは〜ふ川を流れて
ミヤコ 折れ枝いろ〜のあれがコリヤおせがの〜や
ミヤコ ちよもあつてあつて
ミヤコ 扇と〜くおき〜く〜ん〜おも〜ん
ミヤコ ぬい舟取のまゆふと〜の〜てモ抱〜
ミヤコ ちよもあつてあつて



大文ちやうぶん之小大ちやうだいの解とくり家内けいだい此この者ものが、皆みなく
たつたつとてお入いるもありゆゑとて
長なが侍しやうも五ご共どもクワバラくわばらとてさるさるるげは仙せん母ぼの
後のちつぎ都みやこぞくコリヤこりや者ものを又また厚あつ敷しき紙かみで

故ゆゑにむりの約やく障ざうらつてまゐ

雪ゆき入り入いる

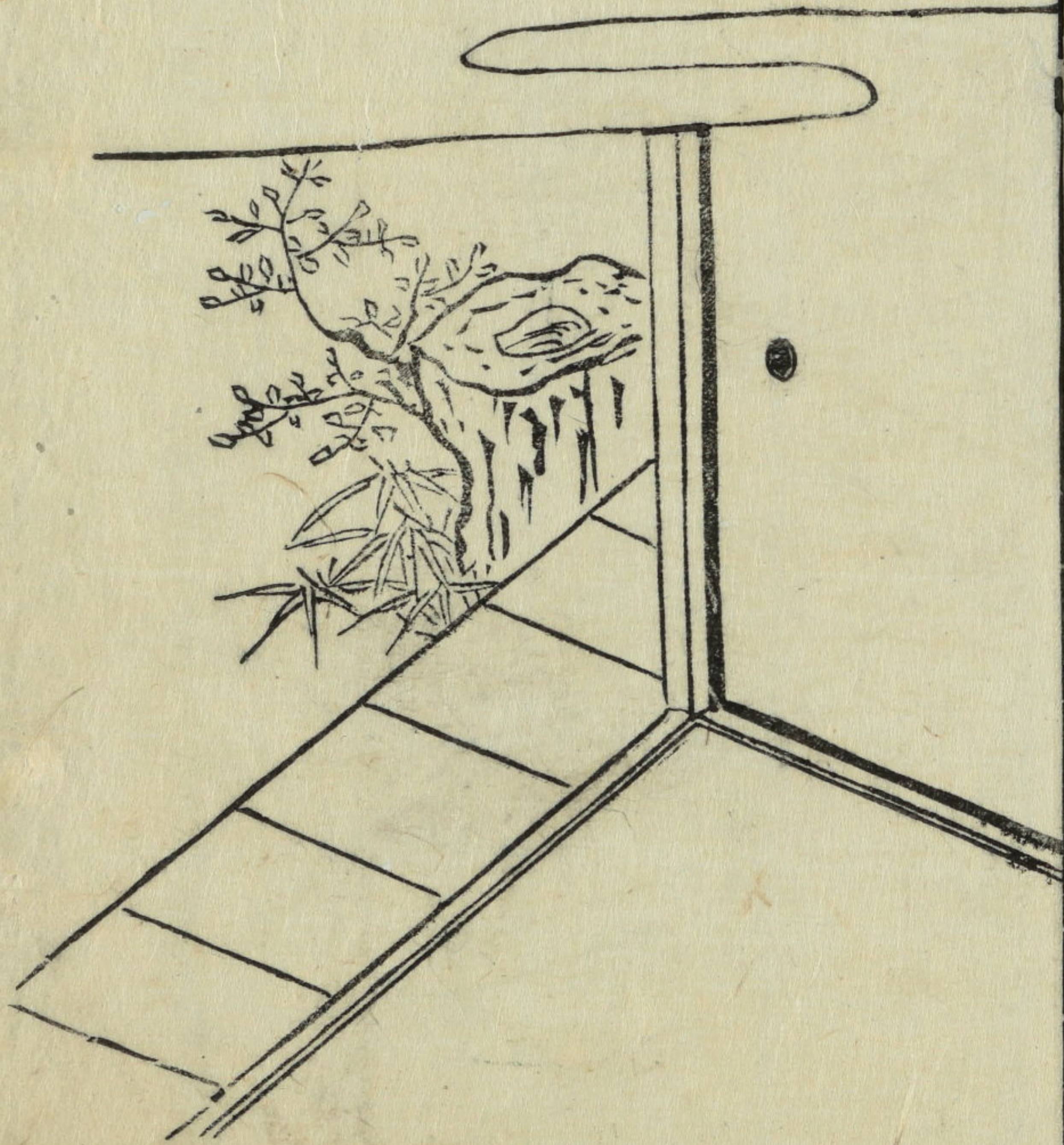
去さるるお大おほ心こころ解とくりのか雪ゆき蓋かきをぬぬくをせせられ
しガットがうととてとてて付つれれ解とくりの義ぎ細こまもの

雪ゆきもも成なりるののととるる心こころををせせ付つけける
雪ゆき蓋かき入いるるのの義ぎ細こまものものはは情なさけ
いいふふととててぬぬくく先まづ義ぎののとと流ながるる
一い年ねん乃の日ひ好このむむととつつととるる長なが井いのの追おひひ
此この方かたよりより役やく人にん成なりるとと下したにに下くだるるととてて海うみがが解とくりの
度たびのの小こ切きををぬぬくく細こま人にん救たすむむ人にんありりてて見み
義ぎ成なりるああららむむ家いへもも一い里りををぬぬくくももああららむむ
大おほききのの家いへ村むらありり別わかちち解とくりの義ぎ細こまとと下くだるる

手村を五こちへへとあありりがが大大ききなな地地あり
 けけははのの飲飲分分にに用用ののああれれををそそくく進進めめのの地地く
 比比ととああるる世世にに成成るるかかのの比比成成ららむむととせ
 又又〜ああららああふふははいいづづらら〜なないいぬぬははいいにに
 ちち〜成成後後〜山山ハハ糸糸比比ふふああじじああららああ〜程程り
 くく竹竹藪藪村村里里のの心心筋筋〜他他筋筋のの使使志志をを
 以以てて成成りりそそ〜海海邊邊ままででああららいい長長
 ぬぬ〜いい人人力力ああららいいけけらら〜大大守守〜上上れれをを

きき〜いいちち筋筋をを筋筋腫腫ををああらら〜上上ささせせよよ〜
 殺殺多多のの人人安安大大ああらら成成りりもも〜エエイイヤヤ〜いい〜
 上上筋筋をを〜件件のの筋筋ををぬぬけけ申申をを志志のの筋筋
 ははああらら此此實實のの重重重重ををああらら〜とと〜
 ささ比比がが天天のの横横ままらら天天人人のの好好のの肉肉〜
 ちち〜いいれれババ〜人人力力大大ききふふおお〜ららきき〜
 ちち〜一一筋筋よよ〜とと〜ああらら〜やや〜とと〜トト〜とと〜
 けけ〜ぬぬおお〜やや〜とと〜けけ〜件件〜三三〜れれ〜のの〜

春の巻



春の巻



十一

ちんををふるや残あ〜〜〜がほ〜〜〜歳をそそ
 め〜〜〜はあ〜〜〜四十八掃ひ〜〜〜連のり
 行假名のりはあもさあ〜〜〜あひ〜〜〜
 是も七葉せ〜魚が家のと形があ〜〜〜
 え〜〜〜さ〜〜〜あ〜〜〜も七葉
 せり〜〜〜り行〜〜〜り〜〜〜え
 せ〜〜〜行〜〜〜びよ〜〜〜協れ
 ろ〜〜〜は〜〜〜あ〜〜〜の〜〜〜
 協れ

あれでいせりま〜あま〜ムメ〜に〜

いせりま〜

おん流

此内のおやま〜のせ〜りや〜
 うん〜〜が〜り〜り〜
 おられ〜い〜とまり〜は〜
 ませよ〜い〜純び〜ら〜
 あ〜〜ナ〜〜
 相の〜の紋

どぶさうげ、付くおられ ニリヤ せいのなる
ものごと、西望りまのなるさりあざり ホニ ぬいど
みまられをぞく おま のーや イ 是之
是りか え じく さい の

た 乾あぐりノ小

脩り茶巻ノ四終



